

別紙

大崎工業株式会社 広島工場 温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

- (1) 事業所の名称 大崎工業株式会社 広島工場
- (2) 事業所の所在地 広島県豊田郡大崎上島町中野977番地
- (3) 業種 化学薬品製造 (1639)

2 計画の期間

本計画の期間は、平成20年度を基準年度とし、平成24年4月から平成27年3月までの3年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況
 《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス実排出量総計							
温室効果ガスみなし排出量							
実績に対する自己評価							

※ 削減率 (c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：生産販売量 (t)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成20年度	平成26年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー起源CO ₂	1.135	1.101 2.99	1.276 ▲12.4	1.248 ▲9.96	1.200 ▲5.73		
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス総排出量	1.135	1.01 2.99	1.276 ▲12.4	1.248 ▲9.96	1.200 ▲5.73		
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	3,239		3,722	3,687	3,705		
実績に対する自己評価	近年主力製品が生産量に対して、多量のエネルギーを必要とする物になった為、原単位上昇。年々削減率の改善は、見られる。						

※ 削減率 (c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	20年度生産量1 t で, 447L使用 26年度生産量1 t で, 430Lに削減	ボイラーの改良 廃熱利用の促進
2	燃料使用量の削減	軽油使用量が8 kLから7 kLに削減	電動フォークリフト1台導入 アイドリングストップ実施
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
	廃棄排水量の削減	廃棄水量30 t /月削減	リサイクルの促進 使用水量の削減（水洗いの禁止）

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。